令和　6　年度　下　半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市西部コミュニティセンター及び交楽園	所管課	男女共生･生涯学習推進課
所在地	岐阜市下鵜飼一丁目105番地		
指定管理者名	岐阜市西部コミュニティセンター運営委員会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	□ 公募　☑ 非公募		
料金制	☑ 使用料　□ 利用料金　□ 料金徴収なし		
指定管理委託料（年額）	20，343，685円（令和6年度）		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること		
施設概要	敷地面積　4，177．66㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て　延床面積　2，239．77㎡ 防災会議室、集会室、教養娯楽室、生活相談室、大集会室、小会議室、料理教室、チビッ子室、駐車場 岐阜市西部図書室（併設施設）、岐阜市西部ふれあい保健センター（併設施設）		

●利用状況

		R06 下半期	R06 上半期	R05 下半期	R05 上半期	R04 下半期
利用者数（単位：人）		24,243	15,061	15,158	23,174	17,116
各室稼働状況（%）	防災会議室	94.0	93.0	94.7	91.7	94.7
	集会室	84.1	89.1	88.2	90.5	90.1
	教養娯楽室	36.4	28.9	21.7	22.9	25.8
	生活相談室	45.7	43.0	42.1	43.3	49.0
	大集会室	80.8	75.6	74.3	69.4	82.1
	小会議室	57.6	55.8	57.9	56.1	57.6
	料理教室	17.9	16.7	21.7	22.9	15.9

●業務の履行確認

区　分	確　認　事　項	履　行　状　況
利用者サービス	①供用日･供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用を行っている。 ②適切な運用を行っている。 ③コミセンだより、サークル一覧表及び事業ごとの募集チラシを構成地域の住民を対象に回覧し、センターの活動状況を紹介している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口などで利用者の声を聴き可能なものは迅速に対応している。
自主事業･提案事業	下記自主事業の実施(下半期) ①10/1西部コミセンだよりの発行 ②10/1～26サークル体験会を実施 ③10/26サークル責任者会議 ④第2回運営委員会及び防災研修会 ⑤12/12シニア男性料理教室 ⑥2/19消防訓練（後期） ⑦3/1第3回役員会･運営委員会 ⑧3/9春のコミセンまつり	①10/1に1,300部を発行 ②サークル体験説明会を実施（15サークル、39名参加） ③各サークル責任者とコミセンまつりの打合せ及び意見交換 ④11/30に令和6年度経過報告及び地域役員と合同防災研修会を開催 ⑤健康づくり課栄養士の指導の下実施した ⑥施設職員にて実施した ⑦令和7年度事業計画及び令和7年度収支予算について審議した ⑧第37回春のコミセンまつりを開催した

施設管理	日常点検 ①消防設備点検（自主点検） ②不審者、危険物（自主点検） 法定点検 ①昇降機保守点検（年1回） 定期点検 ①昇降機保守点検（年4回） ②し尿浄化槽保守（年52回）	日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし 法定点検 ①12/11に実施 定期点検 ①12/11、3/14に実施 ②毎週木曜日に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミュニティセンター条例第7条の規定に基づき遵守している。 ②マニュアルを整備するとともに、年2回防災訓練を実施している。 ③関係法令を遵守し、管理・運営に務めている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	令和7年2月1日～2月28日実施（回答数：58件）
利用者アンケートの実施結果	設問① 年代 10歳未満　0%、10代　1.7%、20代　1.7%、30代　1.7%、40代　1.7%、50代　13.8%、 60代　19.0%、70代　53.4%、80代以上　6.9% 設問② 利用した部屋は 防災会議室　44.8%、集会室　19.0%、教養娯楽室　5.2%、生活相談室　3.4%、 大集会室　3.5%、小会議室　13.8%、料理室　1.7%、併設施設　8.6% 設問③ スタッフの対応について 満足　69.0%、やや満足　8.6%、ふつう　22.4%、やや不満　0.0%、不満　0.0% 設問④ 施設・設備について 満足　56.4%、やや満足　14.6%、ふつう　25.4%、やや不満　1.8%、不満　1.8% 設問⑤ 全体的な満足度 満足　65.5%、やや満足　9.1%、ふつう　25.4%、やや不満　0.0%、不満　0.0%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・暖房が暑すぎる、体調を崩しそう。図書室の暖房が暑すぎ。図書室の新聞のある場所が特に暑い。 →空調設備が古く、細かな温度調整ができない状態です。図書室が暑い時は、連絡してもらえれば暖房を切るようにしました。 ・小会議室の空調調整が難しい（ON→熱い、 OFF→寒い） →設備が古く、ご迷惑をおかけし申し訳ありません。 ・催しがある時に、駐車場がいっぱいで図書室が利用できなかった。図書専用の駐車場を確保してほしい →来場者が多く見込まれる場合は、民間の土地を借りるなどしていますが、それでも足りない場合にはご迷惑をおかけしています。 ・駐車場の白線が雪で見えなかった、雪どけしてほしい。 →雪が積もった時は、当日の朝、職員総出で除雪し駐車場の白線を見えるようにしていますが、それ以降の降雪への対応は難しいのが現状です。 ・女性職員は親切ですが、男性は偉そうに話す →今後、対応には十分気を付けます ・ゴミ箱がないので不便 →ゴミは持ち帰りをお願いしています。 ・集会室の窓にカーテンをつけてほしい →集会室にはレースのカーテンを設置していますので、ご確認ください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市西部コミュニティセンターの運営上の基本方針、平等利用を確保するための体制	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供されているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口応対、プロモーション、設備等の整備など）	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理に関する経費の設定額の妥当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造、スタッフの配置	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方針	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一体となって、地域を巻き込んだイベント、社会活動の開催など	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織であり、地域に密着した運営が行われているか	A	A	A
		地元の住民の雇用及び貢献に関すること	・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員として採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み に対する評価	・サークル体験会には15サークルで39名が参加し、過去最多の参加者となった。 ・電気料金や燃料代の高騰が続いており、こまめな消灯など節電、省エネに努めた。 ・燃料費や電気代を確保するため、他の経費について節約に努めた。
前回までの意見の 取組み状況	・施設管理に万全を期すため、細やかな点検を行い、①正面駐車場の歩行者保護用のポストコーンに破損が見られたので全部を交換修理し、②第2駐車場のフェンス支柱1本にぐらつきがあったので交換するなど早めの修繕に心がけた。
今後の取組み	・施設の老朽化に対応して早めの修繕を心がける。 ・燃料費や光熱費にとどまらず、すべての物価が上がっている中で、委託料は5年間固定されているため引き続き経費の節減に努める。

●所管課の意見

今年度下半期は、指定管理者実施の事業として「シニア男性料理教室」、「コミセンまつり」などを実施している。シニア男性料理教室は13名の参加があった。地域住民の関心のある講座を開き、住民らのふれあいの場を創出した。コミセンまつりは、ステージ発表、展示共に多数のサークルの参加があり、総参加者は450人と盛況であった。昨年度の総参加人数430人に比べて増加している。
2月に実施したアンケートの結果、スタッフの接遇について一部指摘があるため、今後は改めて接遇意識について意識されたい。
施設管理の面では、ポストコーン修繕やフェンスの修繕など、利用者のために効果的な修繕を複数実施した。今後も適正な管理運営を期待したい。
運営組織は、地域の自治会連合会をはじめ、各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

コミセンごとの利用率については、人口比率が大きく作用している。
決算報告書より、与えられた予算の中で健全に実施をしている。
アンケート結果を見ると、不満はないようであり、適正に実施されていると見受けられる。